

飯能市公共施設等総合管理計画

個別施設計画（スポーツ施設）

令和3年2月
飯能市教育委員会

【目次】

第1章 スポーツ施設の背景・目的等 P. 3

- 1.1 背景
- 1.2 目的
- 1.3 計画期間
- 1.4 対象施設

第2章 スポーツ施設の実態 P. 5

- 2.1 対象施設の一覧
- 2.2 施設の現状
- 2.3 施設の配置状況
- 2.4 施設の利用状況
- 2.5 施設の維持・管理に係る経費

第3章 スポーツ施設整備の基本的な方針等 P. 11

- 3.1 スポーツ施設の規模・配置計画等の方針
- 3.2 長寿命化の方針

第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等 P. 13

- 4.1 改修等の整備水準
- 4.2 維持管理の項目・手法等

第5章 長寿命化の実施計画 P. 14

- 5.1 改修等の優先順位付けと実施計画
- 5.2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

6.1 情報基盤の整備と活用

6.2 推進体制等の整備

6.3 フォローアップ

第 1 章 スポーツ施設の背景・目的等

1.1 背景

スポーツ施設は、市民の健康増進、体力づくり、生涯スポーツの普及促進を目的とするとともに、スポーツやレクリエーションに親しむ拠点となっています。今後も多くの市民やスポーツ団体が利用することが考えられ、利用者が安心、安全に、そして快適にスポーツやレクリエーションを楽しめる施設の管理運営が求められています。

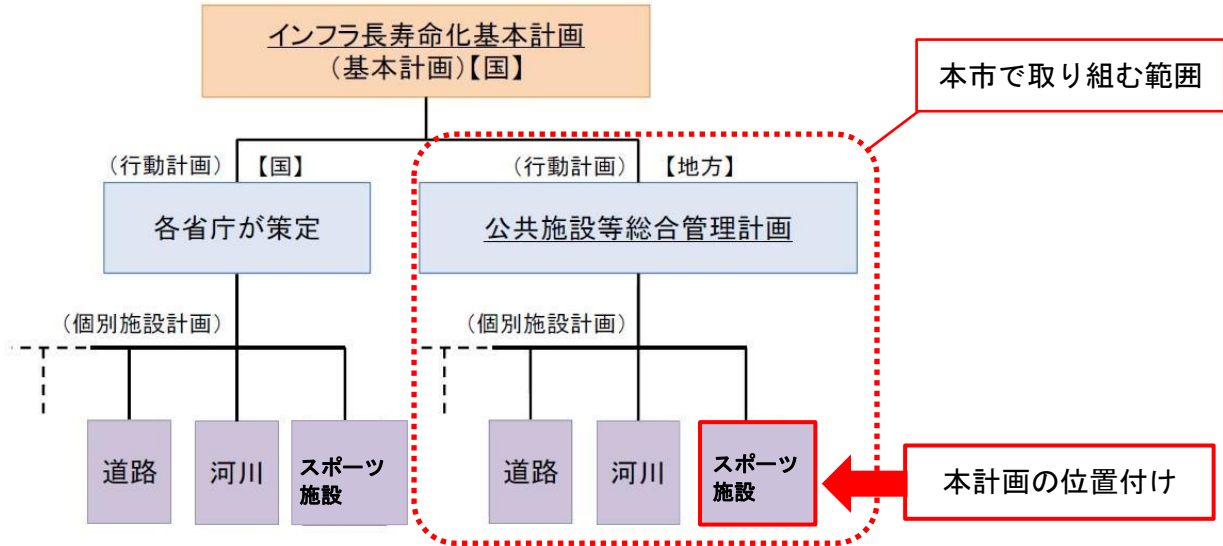
本市では、昭和 40（1965）年代からの急激な人口増加を背景に、スポーツ施設を含む公共施設や道路、上・下水道施設などインフラ（社会基盤施設）を多く整備してきました。スポーツ施設の多くは、建設から 30 年以上経過し、老朽化に伴う修繕等の維持管理費が増大しており、人口減少や少子高齢化の急速な進行による、税収の伸び悩み、社会保障費の増加など現在の財政状況を踏まえると、公共施設等の維持・更新にかかる費用をいかにして適正な水準に抑えていくか、また、どのように財源の確保を図っていくかが大きな課題となっています。さらにこのような社会経済情勢の変化や、それに伴うライフスタイルの多様化に対応するため、これまで公共施設が担ってきた役割や提供してきた行政サービスなど、質、量ともにそのあり方を見直すことも課題になっています。特に市民プールについては、昭和 47 年に建設され 48 年が経過しているため、今後大規模改修や建替えに多額の費用を必要とする時期を迎えることから、廃止を含めた施設の在り方を検討してきました。

これらの課題は全国の自治体に共通したものであり、一体的に解決しなければ多くの公共施設等は物質的・機能的に朽ちてしまうことが予測されることから「公共施設等の更新問題」と言われ、避けることのできない問題として対策が必要となっています。

1.2 目的

本計画の目的は、平成 29 年 3 月に策定した「飯能市公共施設等総合管理計画」に基づき、個別施設（スポーツ施設）の具体的な整備方針や実施スケジュール等を「個別施設計画」として示すものです。

<個別施設計画の位置付け>



1.3 計画期間

本計画の計画期間は、令和 3 年度（2021）から令和 12 年度（2030）まで 10 年間とします。ただし、この期間内であっても人口動態、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に計画を見直すこととします。

1.4 対象施設

本計画の対象施設は「飯能市公共施設等総合管理計画」に定める「スポーツ・レクリエーション系施設」を対象とします。

第2章 スポーツ施設の実態

2.1 対象施設の一覧

本市には、加治東地区に市民体育館、市民球場、岩沢運動公園、阿須運動公園（ホッケー場等）、美杉台地区には美杉台公園（多目的グラウンド等）、名栗地区には名栗スポーツ広場があります。

市民体育館をはじめとする11の運動施設（名栗スポーツ広場・市民プールを除く）については、平成19（2007）年3月に「NPO法人化された飯能市体育協会=現NPO法人飯能市スポーツ協会」が、スポーツ教室、市民体育祭及び市民健康ウォーキングなどの事業を行うとともに、平成21年度から都市公園運動施設の指定管理者として管理運営を担ってまいりました。平成26年度からは、さらに充実した管理運営・市民サービスの向上の観点から、NPO法人飯能市スポーツ協会と太平洋総業サービス株式会社から成る飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体が、管理運営の業務を行っています。

対象施設一覧

（令和2年4月1日時点）

名 称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構 造	耐震化
市民体育館	4,953.99	昭和62年	鉄筋コンクリート造	不要
市民球場	1,442.94	平成5年	鉄筋コンクリート造	不要
阿須運動公園ホッケー場 (クラブハウス)	6,591.00 (116.82)	平成12年 (平成15年)	- 木造	- 不要
美杉台公園 (管理棟)	- (105.89)	- 平成元年	- 鉄筋コンクリート造	- 不要
岩沢運動公園	-	-	-	-
阿須運動公園	-	-	-	-
名栗スポーツ広場 (管理棟)	- (55.10)	- (昭和59年)	- 木造	- 不要
市民プール	338.85	昭和47年	鉄筋コンクリート造	未実施

2.2 施設の現状

都市公園運動施設等の老朽化が進み、市民体育館については、開設から 33 年ほどが経過しており、近年、変電室内変圧器（P C B）取替工事、音響設備改修工事を行いました。メインアリーナの床修繕、水銀灯の生産中止に伴う L E D 照明への交換、壁の目地修繕や雨漏りへの対策など、その他にも大規模な改修が必要な時期を迎えています。

市民球場については、スコアボードの表示システムの改修、阿須ホッケー場・美杉台多目的グラウンドについては、一般的な耐用年数が約 10 年とされている人工芝が、設置から 20 年と更新時期を大きく過ぎており、安全に利用するためには、その張替えが必要な状況となっています。

また、市民体育館のほか、阿須ホッケー場、美杉台公園多目的グラウンドなどの照明は水銀灯を使用していますが、2020 年までに代替品がない等の例外を除き、水銀を使った製品の製造・輸入・輸出が禁止されています。修繕・交換ができない状況になると、利用者の安全に大きな影響を及ぼすため、照明の L E D 化が急務となっています。

飯能市民プールについては、開設後 48 年が経過し、ろ過装置の不具合、給水管の漏水、プール本体及びプールサイドの色あせや剥がれなど、利用者の安全対策に危惧が生じていました。

2.3 施設の配置状況





スポーツ施設案内図

- ① 市民体育館
- ② 市民球場
- ③ 阿須ホッケー場
- ④ 美杉台公園
- ⑤ 岩沢運動公園
- ⑥ 阿須運動公園内その他施設
- ⑦ 名栗スポーツ広場
- ⑧ 市民プール（夏季）

2.4 施設の利用状況

年度別施設利用者数 (人)

施設名	H27	H28	H29	H30	R1
市民体育館	98,337	99,260	96,947	103,983	94,520
市民球場	11,938	10,828	11,095	11,910	10,508
阿須運動公園ホッケー場	26,195	26,319	26,176	23,908	20,237
美杉台公園	87,523	88,609	86,137	91,093	86,756
岩沢運動公園	22,619	20,979	21,866	27,980	※1 10,785
阿須運動公園	45,634	35,610	32,627	36,571	29,507
名栗スポーツ広場	5,639	7,786	6,304	5,911	4,933
市民プール	3,951	3,142	2,560	3,656	2,850
合計	301,836	292,533	283,712	305,012	※2 260,096

(人)

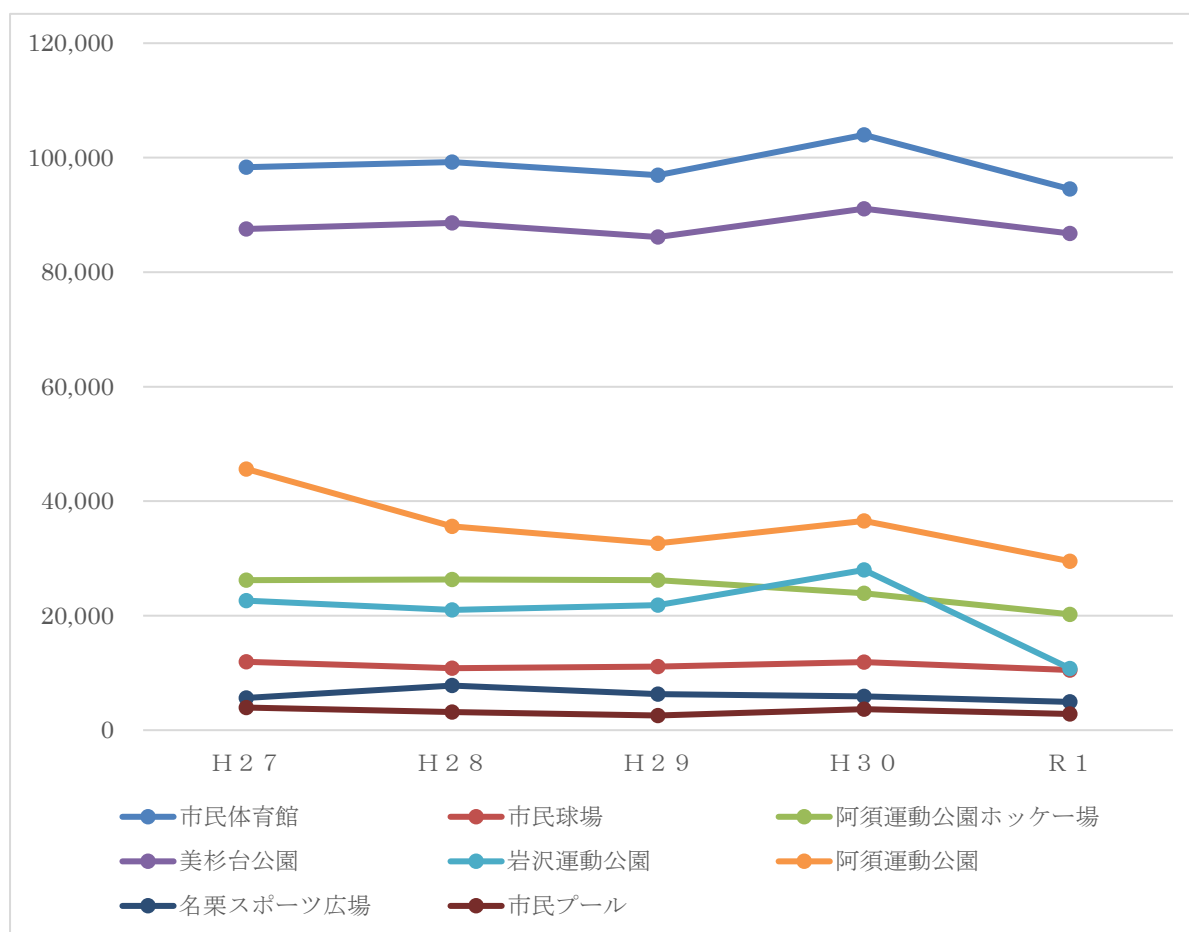


図 2-1 施設利用者数の変化 (令和2年4月1日現在)

※1 岩沢運動公園は台風被害により、令和元年10月中旬から令和3年3月末まで利用を停止している。

※2 令和2年2月頃から国内で感染が拡大した、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響で利用者数が減少している。

2.5 施設の維持・管理に係る経費

維持・管理に係る経費

(千円)

		H27	H28	H29	H30	R1
指定管理分	光熱水費	19,546	17,489	19,024	20,187	20,028
	修繕費	3,235	5,831	3,161	2,687	4,134
	管理費	7,670	7,114	7,404	6,420	7,270
	保守点検費	12,679	13,049	13,097	13,848	14,003
	人件費	20,917	20,335	22,075	22,056	22,473
	事業費	179	242	270	287	970
※直営	光熱水費	2,569	1,641	1,628	1,824	1,835
	修繕料・工事費	13,403	7,332	11,960	35	15,573
	委託料	8,775	8,742	8,836	8,836	8,988
合計		88,973	81,775	87,456	77,910	95,273

※名栗スポーツ広場・市民プール分。工事費は体育館PCB変圧器交換・音響設備改修含む。

(千円)

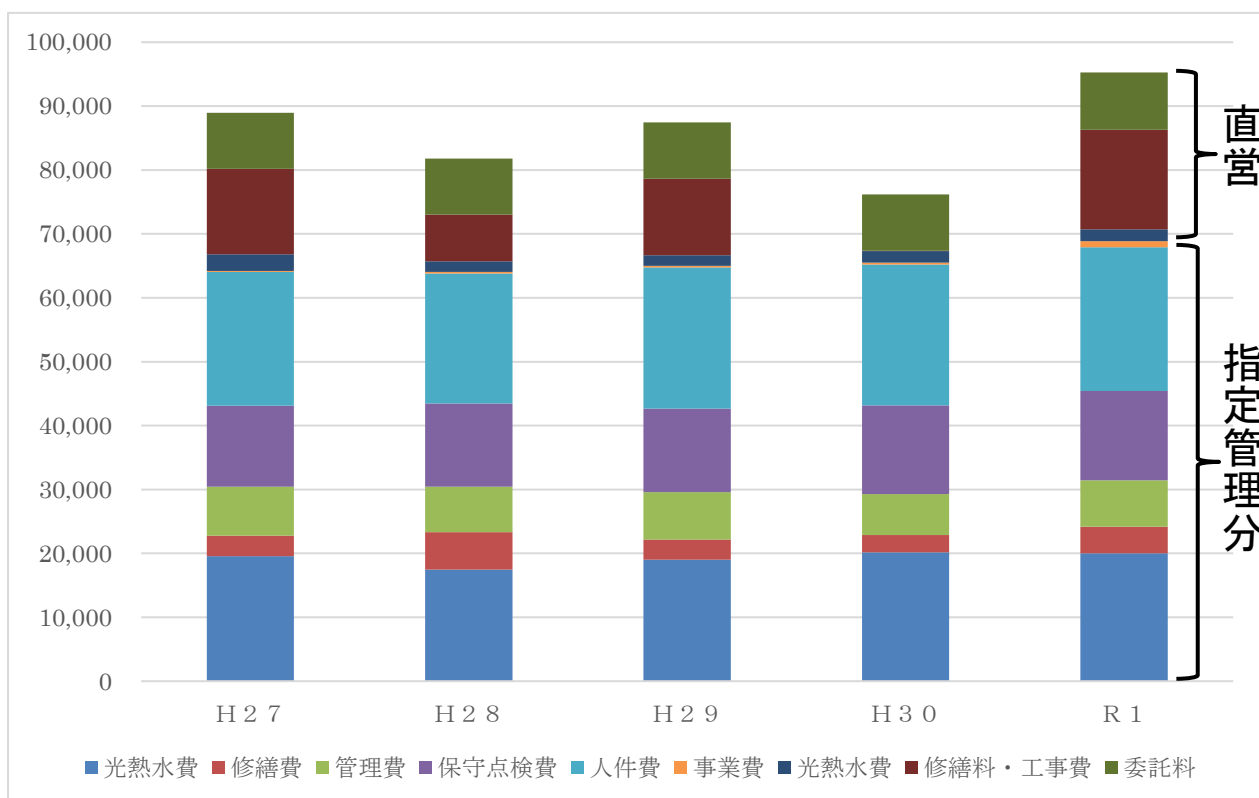


図 2-2 維持・管理に係る経費 (令和2年4月1日現在)

第3章 スポーツ施設整備の基本的な方針等

3.1 スポーツ施設の規模・配置計画等の方針

<p>公共施設等総合管理計画の基本方針</p>	<p>「総量の最適化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「必要なものはサービスであって施設ではない」 ・既存施設の再生・活用 <p>「施設（機能）の再編・再配置」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の多機能化及び機能の集約 ・官民連携による地域資源の有効活用 <p>「効果的・効率的な管理運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPP・PFIによる民間活力の導入 ・維持管理・運営の適切なマネジメント
<p>公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 【スポーツ・レクリエーション系施設】</p>	<p>維持管理については、緊急度、優先度を踏まえ計画的な修繕等を行う。</p> <p>利用状況等を踏まえ、市域を超えた広域での相互利用の拡大など今後の施設のあり方を検討するとともに、より効率的、効果的な管理運営を検討する。</p> <p>老朽化が著しい市民プールについては、廃止を含め今後の施設のあり方を検討する。</p>

(飯能市公共施設等総合管理計画)

市民の余暇時間も逐年増加し、スポーツ・レクリエーションへの関心は益々高まっており、飯能市民をはじめとする多くの方々が、健康で元気に、明るく活力に満ちた生活を送るために、スポーツ・レクリエーションの果たす役割は大きく、その拠点となっているスポーツ施設については、老朽化への対策や新型コロナウイルス感染症等予防の対応など、利用者が安心、安全に、そして快適にスポーツやレクリエーションを楽しめる場として、その環境の整備に取り組む必要があります。

都市公園運動施設等については、埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)に基づく、公共施設の相互利用が推進されている中で、他の構成市市民の利用も多いため、施設を存続しサービスの提供を継続していく必要があり、施設の老朽化に対する修繕については、定期的な施設点検を行うとともに、指定管理者や関係部署と協議し、修繕計画を作成して計画的な修繕に向けて取り組んでいきます。

市民プールについては、昭和47年に開設してから耐用年数である30年を大きく超過し、プール本体の劣化のほか、ろ過装置や給水管などの付帯設備の不具合が多々生じており、利用者が安心・安全に、利用することが非常に困難になっています。このような状況を踏まえ、「飯能市公共施設等総合管理計画」では、「老朽化が著しい市民プールについては、廃止を含め今後の施設のあり方を検討する」と位置付けられており、庁内で検討、関係団体と協議を進めてまいりました。「利用者が大きく減少していること」「大規模な修繕が必要であること」などを含め、民間施設には「遊戯性を兼ね備えた施設」や「夜間利用も可能な施設」もあり、全体的な市民ニーズを鑑みると「代替性がある公共施設」と考えられることから、廃

止という方向性を見出し、令和 2 年度をもって市民プールを廃止することとしました。今後、跡地の活用・撤去・処分等について検討していきます。

3.2 長寿命化の方針

「飯能市公共施設等総合管理計画」において、今後も利用を続ける施設については、施設の性能を長期的に維持できるよう、耐用年数、更新時期等を考慮しながら、「事後保全型」から「予防保全型」への転換に努め、ライフサイクルコストの縮減や予算の平準化に努めるとしています。

文部科学省では長寿命化改修の優位性を示しており、本市においてもスポーツ施設の長寿命化によるメリットは大きいと考え、長寿命化改修が可能な施設については長寿命化することとします。

第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

4.1 改修等の整備水準

市民体育館においては、開設から33年目を迎え、近年は付帯設備の老朽化に伴う改修工事を行っています。しかしそれは、スポーツ施設としての最低限の機能維持のために、不具合が生じてから修繕等を行う「事後保全型」のものが大半となっています。

今後は施設の耐用年数を考慮しながら、利用者の安全を最優先とした、点検等による不具合箇所の早期発見、早期対応による維持補修費の縮減を図る「予防保全型」への転換に努めることとします。

平成27～令和元年度中に行った大規模修繕 (円)

	修繕・工事名	契約金額
平成27年度	市民体育館非常照明用直流電源装置交換修繕	7,128,000
	市民体育館メインアリーナ床修繕	4,752,000
	飯能市民球場修繕	1,198,800
	市民プールアスレチックスライダー支柱交換修繕	127,440
	市民プールろ過機蓋交換修繕	108,000
平成28年度	市民体育館メインアリーナ排煙装置修繕	7,020,000
	市民プールほか給水管漏水修繕	280,800
平成29年度	市民体育館1階ラウンジ床面タイルカーペット張替工事	453,600
	市民体育館メイン・サブアリーナ排煙装置修繕	6,102,000
	飯能市民球場選手用トイレ修繕	1,273,860
令和元年度	飯能市民プール漏水修繕	200,880
	飯能市民体育館メインアリーナ床修繕	1,270,060
	飯能市民体育館変電室内変圧器取替工事	4,510,000
	飯能市民体育館音響設備改修工事	9,592,000

4.2 維持管理の項目・手法等

都市公園運動施設については、平成21年度から指定管理者が管理運営を担っています。平成26年度からは、さらに充実した管理運営・市民サービス向上の観点から、NPO法人飯能市スポーツ協会・太平洋総業サービス株式会社との飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体として、管理運営の業務を行っています。

施設の管理運営や修繕などについては、指定管理者と情報共有し連携を密に取る等、適切な維持管理に努めて行きます。

第5章 長寿命化の実施計画

5.1 改修等の優先順位付けと実施計画

スポーツ施設の現状把握と改修等の優先順位を検討するための劣化状況調査を実施します。

劣化状況の点検項目は、以下の項目とする。

＜劣化状況、工事履歴＞	＜改修内容、点検等の指摘事項＞
1 屋上・屋根	3 内部仕上げ
2 外壁	4 電気設備
	5 給排水、衛生設備
	6 その他設備

劣化状況調査は、3年に1度実施します。

【対策の優先順位】

(1) 建物の安全性の確保 (2) 利便性の向上(施設機能の確保) (3) コスト
施設の老朽化等による損傷が著しい箇所や、利用者に事故が懸念される場合など、緊急的に対応が必要な施設の安全対策を最優先とします。

	前期(～2030年) 本計画期間	中期(～2040年)	後期(～2050年)
市民体育館	大規模改修(メインアリーナ床及び天井脱落防止工事等)		長寿命化改修診断
市民球場	大規模改修(スコアボード改修及びナイター照明LED化工事等)		長寿命化改修診断
阿須運動公園ホッケー場 (クラブハウス)	大規模改修(人工芝張替及び照明LED化工事)	クラブハウス建替え検討	人工芝張替
美杉台公園 (管理棟)	大規模改修(人工芝張替及び照明LED化工事) 管理棟大規模改修		管理棟長寿命化改修診断
岩沢運動公園			
阿須運動公園			
名栗スポーツ広場 (管理棟)	管理棟建替え検討		
市民プール	廃止後の跡地の活用・撤去・処分の検討		

計画期間中に必要な大規模修繕

(円)

工事名	見積額
市民体育館メインアリーナ床修繕	6,000,000
市民体育館廊下シート張替修繕	4,600,000
市民体育館ガラスブロック目地修繕	24,800,000
市民体育館内照明LED化工事	20,000,000
市民体育館高圧ケーブルP A S取替工事	2,500,000
市民体育館メインアリーナ天井脱落防止工事	68,100,000
市民球場スコアボード改修工事	60,000,000
市民球場ナイター照明LED化工事	40,000,000
ホッケー場及び美杉台グラウンドLED化工事	30,000,000
阿須ホッケー場人工芝張替工事	200,000,000
美杉台多目的グラウンド人工芝張替工事	200,000,000

5.2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

市民体育館において、築60年目で建替えを行う場合は、建築後30年目を目安に大規模改修を行い、60年目で建替えを設定します。また、長寿命化改修を行う場合は30年目を目安に大規模改修を行い、60年目で長寿命化改修をすることで80年目に建替えを設定します。大規模改修後の将来30年においてかかる費用を比較すると、建替え時期を先延ばしした上で長寿命化改修を行った場合の方が、直近20年における総費用は、約8.5億円削減できます（詳細診断にかかる経費は除く）。

(百万円)

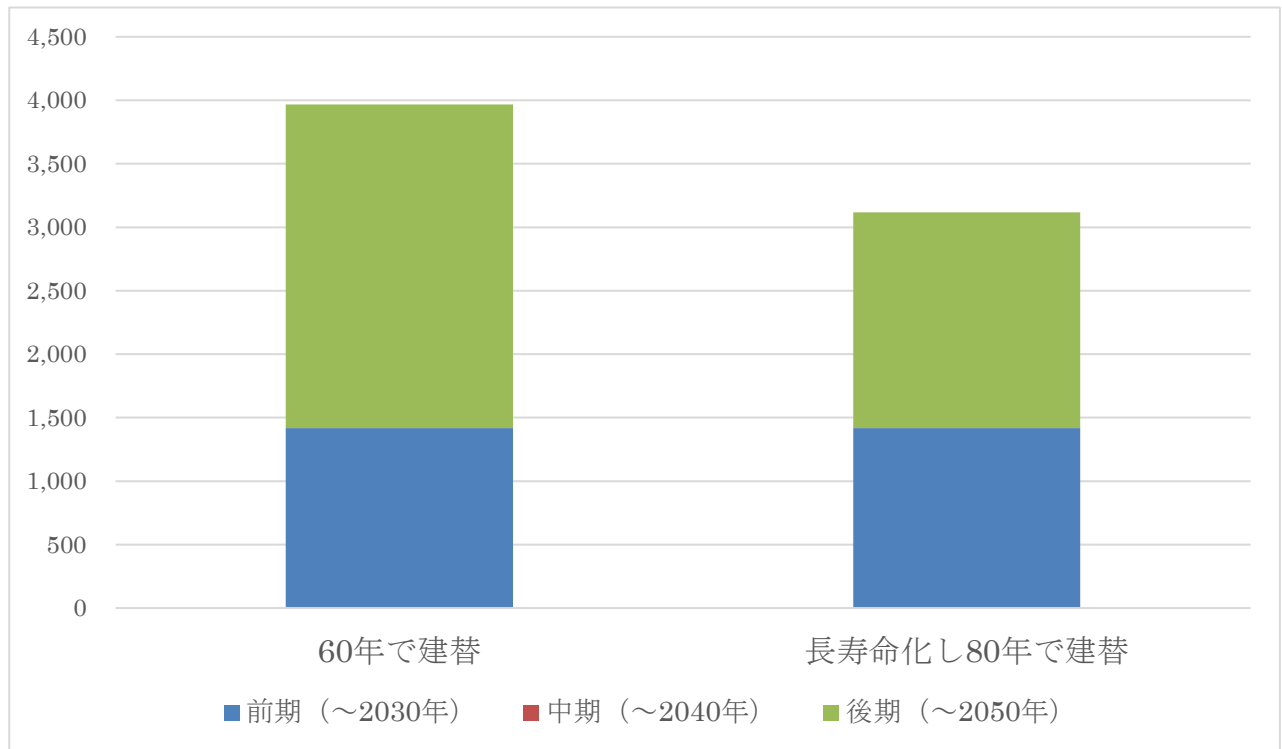


図5 建替え・長寿命化コスト比較

※建替え及び改修費の単価は以下のとおり設定した。

- ・建替え費用＝(単価1) 万円/㎡×1.3(諸費用)×1.1(消費税)
- ・大規模改修費用＝(単価2) 万円/㎡×1.3(諸費用)×1.1(消費税)
- ・長寿命化改修費用＝(単価3) 万円/㎡×1.3(諸費用)×1.1(消費税)

(長寿命化改修費用は総務省の単価表に無いことから、通常の改修に加え、老朽化対応、中性化対策工事(外壁、天井裏躯体の保護塗装)、給排水管の更新などを想定し、大規模改修の2割増で単価を設定した。)

建替え及び大規模改修費用 (万円/㎡)

	建替え費用 (単価1)	大規模改修費用 (単価2)	長寿命化改修費用 (単価3)
スポーツ・レクリエーション系施設	36	20	24

(総務省：公共施設及びインフラ資産の更新費用の簡便な推計に関する調査表、単価表参考)

第6章 長寿命化等の継続的運用方針

6.1 情報基盤の整備と活用

スポーツ施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営経費、工事・修繕履歴や劣化情報をデータ化し一元管理します。

6.2 推進体制等の整備

スポーツ施設所管課である飯能市教育委員会生涯学習スポーツ部スポーツ課を中心に、スポーツ施設のマネジメントを行うほか、庁内関係部署と緊密な連携を図りながら、全庁的な体制で対応を図ります。

日常的な施設管理の質を向上するため、指定管理者からの報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図ります。

6.3 フォローアップ

本計画は、スポーツ施設の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、飯能市総合振興計画（実施計画）の中で必要経費を平準化するなど、実施時期・内容など精査するとともに、並行して補助金、交付税、地方債などの利用可能な制度を積極的に活用していくこととします。

また、計画に位置づけられた事業は、事業の進捗状況、劣化調査などを反映して予算等の見直しを図るものとします。